

人権啓発センター だより

平成26年6月
No.6

(公財) 高知県人権啓発センター



県民意識調査より

平成24年度に県が実施した「人権に関する県民意識調査」で、高齢者に関して少し気になる数字がありました。高齢者の人権上の問題点として「高齢者を狙った悪徳商法の被害が多い」、「道路、乗物、建物等でバリアフリー化、ユニバーサルデザイン化が図られていない」などが上位になっている中で、「自己啓発や文化的活動に参加する機会が極めて少ない」とした方が8.1%しかなかったことです。

肯定的に考えれば、日ごろ何らかの文化芸術の趣味活動やサークル活動を実践している方が多いので、問題点としていないとみえるわけですが、果たしてそうでしょうか。この数字の裏に、年金生活で余裕がない、日々介護に追われている毎日で、文化活動とは縁がないなどの高齢者が多数いるのではと考えさせられた数字でした。

(企画啓発課 白石)



人権あれこれ

「みさお」という女性がいる。彼女は熟年となった今も、中学時代からの親友に「チャオ」と呼ばれている。チャオ…何と親愛感あふれる呼び名だろう。変わらぬ友情、お互いの何もかもを許し合うという親友関係が伝わってくる。ほのぼのとしてうらやましい。

このようにみんなによい感じを与える呼び名がある一方で、呼ばれる人の受け取り方が多様な呼び

名もある。呼ぶ人がおもしろがって作ったり、親しみを込めて作ったりした呼び名であっても、呼ばれる当の本人は望まない呼び名もある。それどころか呼び名を使っていじめられ、自殺する子どももいる。

人を呼ぶという行為は大事なことで、呼ぶ人も呼ばれる人も、それを聞いている人も、みんなが気持ちのよい呼び方をしたいものである。

(研修講師 山下)



じんけんライブラリー

一押し本

「ヘイト・スピーチとは何か」

著／師岡 康子
岩波書店（760円＋税）

J1リーグ戦(サッカー)での人種差別的な横断幕の掲示や遍路道における貼紙など、最近ヘイト・スピーチ(憎悪表現)に関わる言動が多く見られる。その言葉が生まれた経緯や国内外の取組みや法規制などについてまでも述べられています。ぜひご一読を！

(研修啓発課 山本)

新しく購入したDVDを紹介します

タイトル	制作	内容
パワハラになる時ならない時 ＜全2巻＞（25分、26分）	職場のハラスメント研究所	パワハラとなる可能性のある言動とそのジャッジポイントを事例で示し、わかりやすく解説した作品。
『部落の心を伝えたい』 シリーズ第19巻 「差別を許さない自分づくり」 —長谷川 サナエ—（26分）	フルーク映像	解放運動一筋に生きてきた長谷川さんが、先祖の差別戒名を心に刻みながら、部落差別と闘う姿を描いた作品。
『部落の心を伝えたい』 シリーズ第21巻 「結婚差別400事例」 —弘瀬 喜代—（28分）	フルーク映像	被差別部落に私生児として生まれた弘瀬さんが、地区外出身の夫と共に30年に亘り、解放運動を続け、結婚差別と闘う姿を描いた作品。
発達障害と虐待 ～教育現場で何かを感じたら～ ＜全2巻＞（35分、45分）	日本発達障害福祉連盟	発達障害を原因とした虐待や、虐待による発達障害に似た症状の発生など、それらを防止するためには何をしなければならないのかが見えてくる作品。
いじめと戦おう！ ＜小学生編＞（21分） ＜中学生編＞（23分）	東映	クラスの大多数を占める傍観者が如何にして“いじめの構図”を崩せるかという視点を中心に、いじめの当事者・被害者・傍観者の立場を理解し、考える事ができるドラマ形式の作品。
ネットと上手につき合おう！ ケータイトラブルから身を守る （23分）	東映	架空請求の罠にはまった中学生の事例や、高校生女子のネットストーカー体験談をもとに、フィルタリングの解説も交えながら、個人情報的重要性を考えていく作品。



事業報告

ピックアップ

平成26年度高知県市町村教育行政人権教育担当者及び人権啓発担当者連絡協議会を開催しました

人権が尊重される社会づくりを推進するため、県と市町村が情報交換などを通じ、人権施策の実施などにおいて連携できるようにすることを目的として開催しています。

県内の全34市町村の担当者の出席があり、NPO法人高知こどもの図書館の事例発表や、「高知県人権施策基本方針―第1次改定版―」についての説明、各市町村の教育と啓発の担当者間協議を行いました。

今年度の日程と参加人数等は以下のとおりです。

- 5月12日（月） 東部会場（安田町文化センター）
…… 10市町村 20名
- 5月13日（火） 中部会場（高知県教育センター分館）
…… 18市町村 38名
- 5月16日（金） 西部会場（宿毛市立宿毛文教センター）
…… 6市町村 14名



事例発表（NPO 法人高知こどもの図書館）



高知県人権施策基本方針の説明（県人権課）



各市町村担当者の協議



Information お知らせ

イベント紹介

第41回「部落差別をなくする運動」強調旬間啓発事業

7月10日～20日は「部落差別をなくする運動」強調旬間です。県民の皆様の同利問題に対する理解と認識を深めていただくために次の催しを行います。多くの方のご来場をお待ちしております。

- 日 時：平成26年7月16日（水） 12：30～16：30
- 会 場：県民文化ホール（オレンジ）
- 映 画：「おくりびと」（「第81回アカデミー賞外国語映画賞」受賞作品）
- 講 演：『「人権の世間」をめざして』
講師：奥田 均さん
- 参加費：無料 ※手話通訳・要約筆記・託児有り



（企画啓発課 谷脇）

平成26年度人権啓発映画放映事業

マスメディアを活用した人権啓発として、人権啓発映画をテレビ放映します。みなさんでぜひご覧ください。

- タイトル：「ほんとの空」
- 内 容：主人公・弓枝の住む地域には外国人、高齢者、障害のある人、被災者などさまざまな人が住んでいます。その中で、自分の偏見に気づき、自らの言動につなげていくことの大切さについて、自分の問題として考えるようになります。原発事故に伴う風評被害などのすべての人権課題を自分に関わることとして捉え、日常の行動につなげることを目的とした作品です。
- 放送日時：平成26年6月22日（日） 15：25～16：05
- 放送局：KSSさんさんテレビ

（企画啓発課 谷脇）



じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で
行っていますのでぜひご利用ください

- 図書
1人5冊以内で、期間は2週間以内です。
 - ビデオ・DVD
1人2巻以内で、期間は2週間以内です。
- ※ 直接来所できない場合は送付もいたします。
（送料は利用者のご負担となります）



ホール案内

各種研修会等にご利用ください

- 収容人員
270名（机を使用する場合は180名）
- 設備
放送設備、スクリーン、冷暖房
- その他
使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp HP : http://www.kochi-jinken.or.jp